

愛寿会だより

3月号
第105号
平成20年
3月1日発行



【 雪化粧をした仁生園 】

愛寿会だよりに寄せて

日頃から皆様方におかれましては、市政推進にご理解、ご協力いただき心より感謝申し上げます。北杜市は今年市制四年目を迎えますが、名実共に市としての基盤を固める年となりました。

北杜市には課題も多くありますが、豊かな自然、多くの芸術・文化施設など地域資源や、首都圏からの利便性にも恵まれており「夢」もたくさんあります。北杜市誕生後、誘致企業数が七社となり、今後も蓄電器の企業と農業生産法人の進出が計画されておりあります。こうした企業誘致への取り組みが認められ、昨年十二月に経済産業省から「企業立地に特色ある取り組みをしている十二市町村」に選定されました。今後も若者が定住でき、将来の財政基盤をしっかりと築くため、企業誘致に全力で取り組んで参りたいと考えております。

昨年「長期滞在型リトリートの杜」を宣言しました。官民協働での「癒しの空間」づくりを実現し、二度、三度と北杜市に来ていただけるような新しい観光スタイルを築いて参りたいと考えております。

また、長坂インターチェンジ付近に国の事業として建設中の大規模太陽光発電実証研究施設が順調に進捗しております。さらに今後二年間で太

陽光パネルが約四ha設置されます。

北杜市長 白倉 政司

さて、地域社会の変化や核家族化などの家族構成の変化により、高齢となった親の介護についても、今までは各家庭において介護することがほとんどでありましたが、家庭や地域だけでは支えきれない時代となってきており、福祉はまさに「自助」「共助」「公助」のバランスが求められています。

このような中、「特別養護老人ホーム仁生園」は、昭和四十八年に山梨県内に初めての民間施設として開所され、地域とともに生まれ、今年五月に三十五周年を迎えられますことは、日頃からの皆様方の多大なるご尽力の賜物であり、深く感謝を申し上げる次第であります。

さらに、昨年七月には「身体障害者療護施設第二仁生園」が開所されました。開所当初から、板山理事長様を始め、小澤副理事長様から「せっかく北杜市に建設したのだから、少しでも北杜市民のために」というお話をいただく中で、多くの市民の皆様にご利用いただいております。家族から喜ばれております。市内に福祉施設やサービス事業所などの福祉資源が充実しているという事は、自宅において介助・介護を行なっている家族や地域にとっても、安心して生活できるということであり、非常に心強く、感謝しているところでありま

す。
愛寿会のモットーと介護・七つの誓いのもと、社会福祉法人愛寿会のますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

料金後納
郵便

7-4
佐川物流サービス(株)
返送先: 〒140-0012
品川区勝島 1-1-1

差出人(差出發送代行)
申子小包

この荷物には依頼人様から預かりました荷物を当社が差出人となって発送代行しています。



【 素晴らしい作品が完成しました
作品の大きさは 80×160cm です 】

デイサービスセンターでは、レクリエーションを通じて利用者様が心から笑い、心から楽しめるサービスを提供させていただけるよう日々、工夫を凝らしています。

レクリエーションを行なう上で大切なことは、お世話をさせていただく職員も一緒になって楽しむ事が必要だということです。頭が痛くなる程、笑いすぎてしまうこともしばしばあります。

これからも、利用者様に満足していただけるようなレクリエーションを目指していききたいと思っております。

写真は、利用者様と職員が一丸となって完成させた、最新のちぎり絵です。

～ デイサービスだより ～



【 学生のみな様と記念撮影 】

帝京学園短大の人形劇、オペレッタ公演のお誘いを受け、小淵沢町福祉活動センターに行つて来ました。

「よかったよ」「頑張りなさいよ」手を握りながら孫に語りかける様に、「やすらぎ」の皆さんは、見送りの学生に繰り返し返していました。

幼児教育を学ぶ学生の公演でしたので、内容に幼さを感じた方もいた様ですが、学生の一生懸命さに孫の姿を重ね合わせている様で、「生の舞台はいいね」という声も聞かれ、近くでこのような機会が、多くほしいと感じた一日でした。

～ グループホーム「やすらぎ」 ～



【 寒さに負けず頑張りました 】

二月十日(日)、中庭に降り積もった雪を使って大きなかまくらを作り上げました。かまくらの中は六人ほど入れるくらい広く、利用者の方々もかわるがわるの中に入り、暖かさや雰囲気を楽しまれていました。

今年になって雪の降る機会が多く、今度は何を作ろうか皆で思案しています。

これからも四季折々の行事を取り入れ、利用者の方々と楽しい日々を過ごしていきたいと思っております。

～ 第二仁生園だより ～

） 節分 ）

二月三日（日）、本年も節分の日に入所者と職員の年男・年女の方々が中心となり豆まきを行ないました。

鬼に扮した職員めがけ「鬼は外！福は内！」と言いながら、今年も元気に過ごせませすようにと、願いを込めながら豆を投げました。

無病息災を願う行事として定着しております。「豆まき」ですが、みな様どのようにお過ごしになられましたか。仁生園では、今年もたくさんの方を呼び込み、笑いの絶えない日々を過ごしたいと思っております。



【 力強く豆を投げていらっしゃいました 】

） 泉中学校 ）

二月八日（金）、泉中学校四十三名の生徒のみな様が、来園されました。

「マツケンソーラン」や「よさこいソーラン」など元気な踊りが披露された後、各班に分かれて手遊びや風船つき肩たたきなど盛りだくさんのレクリエーションを考えてきていただきました。

参加された方々も、生徒のみな様といっしょに「ふるさと」などの合唱を楽しまれ、とても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



【 揃いの法被で踊りを披露していただきました 】

） カラオケ大会 ）

二月二十二日（金）、入所者・利用者の方々に楽しんでいただくことを目的としたカラオケ大会が開催されました。

各班の思考をこらした七組により、激しいカラオケバトルが繰り広げられました。それぞれ個性的な衣装に身を包み、歌手になりきって芸を披露していました。

入所者・利用者の方々も、拍手で音頭を取ったり、手を振って応援したりと、大変楽しんでいらっしやいました。



【 東京だよお母さん 】

― (福) 愛寿会 後援会入会のご案内 ―

愛寿会は、山梨県下第一号の民間施設として、昭和四十八年に「特別養護老人ホーム仁生園」を開設するとともに、地域の要望により、これまでデイサービスセンター・グループホーム・生活支援ハウス等の事業を実施してまいりました。又、昨年七月には「障害者自立支援ホーム第二仁生園」を開設し、峡北地方の高齢者・障害者福祉のニーズに応えてまいりました。

国では、平成十七年から十八年にかけて介護保険制度、社会福祉制度が大きく改正され、給付費・支援費等が著しく圧縮される中、愛寿会では、これからも「利用者本位のサービスの実現」「専門性の活かせる施設づくり」「地域社会との協働と貢献」をモットーに、精一杯、使命と役割を果たしてまいります。愛寿会の趣旨にご賛同いただき、是非ご入会いただきますようお願い申し上げます。

二月末日現在 会員数 一一五名

入会につきましては、
仁生園(〇五五一―三三二―三三四〇)に
ご連絡いただければ入会の用紙を送付させていただきます。

愛寿会後援会

- | | |
|-----|-------|
| 会 長 | 中山 賢一 |
| 副会長 | 平井 静子 |
| 〃 | 櫻井 義長 |
| 〃 | 保坂多枝子 |
| 〃 | 小泉 操 |
| 〃 | 守屋 俊之 |
| 〃 | 山田トミエ |
| 〃 | 三沢喜代子 |

― 後援会入会の方々 ―

(十二月〜二月)

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 〇山縣久高様 | 〇藤森三男様 | 〇栗原 信様 |
| 〇小松照正様 | 〇佐藤信雄様 | 〇橘 徹様 |
| 〇進藤明美様 | 〇石原一男様 | 〇秋山静夫様 |
| 〇相良紀昭様 | 〇長井妙美様 | 〇堤 和彦様 |
| 〇小澤正征様 | 〇山本美根子様 | |
| 〇金山美津子様 | 〇渡辺さつき様 | |
| 〇木村謙次郎様 | 〇浅川萬亀夫様 | |
| 〇久保田文雄様 | 〇杉田東司雄様 | |

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

ご家族のみな様にお願

「登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更・更新がある場合には、ご利用のサービス担当者までご連絡のうえ提出ください。

ご芳情(二月一日〜二月二十九日)

- ・レクボランティアほらかグループ様
- ・レクボランティアゆずつこの会様
- ・北杜市 山鳩の会様
- ・北杜市 保坂 多枝子様
- ・北杜市 小野寺 毅様
- ・川口市 野口 洋子様

利用者状況(二月末日現在)

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十六名
デイサービスセンター	四十五名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	七名
第二仁生園	三十名

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340